

第49回 全国学童保育指導員学校・北関東会場 講座

*講座の末尾の番号は、全国学童保育連絡協議会が作成した「指導員の研修課目(試案)」に該当するものです。

●理論講座 子どものことをより深くとらえるために専門的に学びます。

4 子どもの発達のしくみを学ぶ

【講師】加藤 陽子 (十文字学園女子学大学 心理学科教授) III-1 IV-2

指導員の仕事を進めるうえで、子どもを深くとらえることが求められます。さらに今日、様々な要因から子どもたちの育ちに課題があるケースが多くなっていることから、子どもをよりいねいにとらえることが求められています。学齢期の子どもの発達の特徴や、今日的な特徴を理解した上で、子どもたちの成長をどう促していくかを学びます。

5 子どもの権利条約「第12条子どもの意見表明権」を学童保育にどう活かしていくか

【講師】山下 雅彦 (東海大学名誉教授、こどもリスペクト研究会会長) III-1 IV-2

「子どもの権利条約第12条は「子どもの意見表明権」をうたっています。しかし実際には、指導員の中では「子どもの意見をどのように聞けば良いのか」「意見とわがままはどう違うのか」「意見をどう活かしていくのか」などの悩みもあります。「子どもの意見表明権」を学童保育の生活づくりにどう活かしていくかを学びます。

6 発達障害の子どもたちの理解と支援

【講師】佐々木 将芳 (静岡県立大学短期大学部社会福祉学科講師 社会福祉士) III-4

生活の中で落ち着かない、ひとの話が聞けない、言葉の前に手が出てしまう「ちょっと気になる子」。「LD」「ADHD」等、発達障害だと特別扱いすることで解決することではありません。そうした子どもをどう理解し、支援していくか、学童保育の生活の中で何ができるかを考えましょう。

7 子どもとのかかわり方 ~作業療法士の視点から~

【講師】森川 芳彦 (川崎リハビリテーション学院 准教授 副学科長) III-6-③

作業療法士には、「生活」と「遊び」から子どもの発達支援をする”方たちがいます。まさに学童保育と同じですね。作業療法士の視点から、子どもの「生活」や「遊び」を捉え直してみよう。子どもたちの行動一つひとつを見る目が変わります。また、子どもの不思議な行動や、大人には「困った」と思える行動にも、ちゃんと理由があることがわかります。どの子どもにとっても、指導員にとっても、毎日の生活が楽しくなるヒントが満載です。

8 教室の中の子どもたち ~学校と学童保育~

【講師】千葉 春佳 (公立小学校教諭) III-2-②③

学童保育の子どもたちは、学校と学童保育で生活しています。学校と学童保育とで、見せる顔が違うこともよくあります。指導員は、学校での子どもの様子を知ることで、子どもたちへの理解が深まります。学校現場は、いじめや学力などたくさんの課題・問題を抱え、多くの教師は悩みながら子どもと向き合っています。学校は今どうなっているのか? 学校・教師と学童保育がどう連携して、子どもを支援していくかを学びます。

9 ネット社会で育つ子どもたち ~どんな困難があるか、大人にできることは?~

【講師】中西 新太郎 (横浜市立大学名誉教授) III-2-④

ネット社会は、いま、子どもたちの成長に不可欠な環境となっています。ゲームなど、子どもたちを引きつける大きな魅力があるだけでなく、教育の場でもネット利用が拡大しています。同時に、ネット社会だからこそ生じる危険も子どもたちの生活に入りこんできます。ネット利用にはどんな問題があるか、ネット社会で生きる子どもたちの成長を支えるために大人ができることは何かを共に考えてみます。

10 児童虐待を考える

III-1-② IV-6-⑤⑥ IV-7-③

【講師】渡辺 好恵 (NPO法人埼玉子どもを虐待から守る会 副会長)

児童虐待は、増え続けています。子どもの生活と密接に繋がっているため、指導員は時として児童虐待の第一発見者となる場合があります。一方で学童保育における児童虐待も残念ながら起きています。児童虐待をなくすためには、まず児童虐待について正しく理解することが必要です。そして私たちにできることを学びましょう。

11 大人に知って欲しい生(いのち)と性のおはなし

【講師】上田 美和 (栃木県宇都宮市助産師) III-1-①

日本でも多様性を認められる社会を目指し始めましたが、皆さんのクラブではいかがでしょうか? ジェンダーやLGBTQ(性的マイノリティー)について理解を深めたいと思いつながら、そういう機会は多くないのが現実です。生と性について知ることは、人として根本的な大切なことを知ることで、子どもたちが、性について、自分について、なんでも相談できる大人の一人になってみませんか?

●実践講座 指導員の仕事を実践的に学びます。

12 子どもの生活を保護者と伝え合う

【講師】鶴貝 りさ (栃木県足利市指導員) IV-6

保護者は、わが子が学童保育に楽しく通い、育っている実感があって、初めて安心して働き続けることができます。学童保育での子ども様子を保護者に伝えることは指導員の大切な仕事です。保護者と伝え合うことの重要性、何をどのように伝え合うのかを学びます。

13 子どもとのかかわり方 ~職員集団・職員会議に

【講師】山内 由希 (埼玉県さいたま市指導員) II-3-③ III-3-⑤

学童保育においては複数の指導員で子どもたちの生活をつくっています。職員集団・職員会議において、子どもたちの様子、指導員の関わりを出し合い、振り返り、深め合うことができることがよりよい生活づくりにつながります。職員集団・職員会議で大事にしたいことは何か、どのように指導員同士の話し合いを作っていくかを学びます。

14 学童保育の防災 ~災害への備えを考える~

【講師】野津 牧 (元名古屋短期大学) II-2-⑥

今年元日、能登半島地震は、13年前の東日本大震災を思い起こさせました。子ども・指導員・保護者の命と安全を守るかどうかは、日ごろの備えにかかっています。防災のためには学童保育ごとに安全計画を策定し、共有しておくことが必要です。防災マニュアルづくりを講義とワークショップで学びます。

●運動に関わる講座 学童保育をめぐる情勢と課題、指導員の労働条件改善など運動に関わる問題を学びます。

15 学童保育と指導員をめぐる情勢と課題

【講師】佐藤 愛子 (全国学童保育連絡協議会) I-1-②

国は、「こども大綱」「こども未来戦略」「こどもの居場所づくりに関する指針」を策定し、子ども政策が大きく変わろうとしています。全国学童保育連絡協議会の実施状況調査から大規模化、途中退所の問題があることがわかりました。また、施設・設備、指導員の処遇、保育内容や指導のあり方、運営主体の変更や保護者や地域とのかかわりなどの課題もあります。現状と課題を確かめあい、学童保育をより良くしていくための運動の視点を学びあひましよう。

毎月3万3000人が読んでい日本唯一の学童保育の月刊誌!
月刊『日本の学童ほいく』あなたも読んでみませんか?

子どもを学童保育に通わせる保護者と、子どもたちといっしょに毎日過ごしている指導員が書き手となり、働きながらの子育てを応援し、学童保育の充実の願いをこめてつくられている月刊誌です。

